

令和4年度森林環境譲与税使途公表資料

令和4年度 森林環境譲与税決算状況一覧（総括表）

事業区分	使途区分	事業名等	主な支出費目	事業費総額（千円）		事業の目的・概要	実績・成果等の概要	資料
					うち森林環境譲与税充当額（千円）			
1.民有林整備の推進	1.間伐等の森林整備	未整備森林整備事業 ※令和3年度繰越事業	委託料	4,400	4,400	森林経営管理制度に基づき、市町村森林経営管理事業による未整備森林（10年以上間伐等が実施されていない森林のうち、緊急度の高い箇所）の間伐を実施した。 ※令和3年度事業の繰越事業として実施	市町村森林経営管理事業による森林整備 ・場所：古川町数河（第一工区） ・施業種：保育間伐（11.25ha）	—
1.民有林整備の推進	1.間伐等の森林整備	未整備森林整備事業	委託料	3,542	3,542	森林経営管理制度に基づき、市町村森林経営管理事業による未整備森林（10年以上間伐等が実施されていない森林のうち、緊急度の高い箇所）の間伐を実施した。	市町村森林経営管理事業による森林整備 ・場所：古川町数河（第二工区） ・施業種：保育間伐（7.05ha）	—
1.民有林整備の推進	1.間伐等の森林整備	森林集約化推進事業（未整備森林整備に関する準備業務を含む）	委託料 補助金	6,062	4,465	飛騨市森林集約化推進協議会が実施する森林集約化業務に対し補助金を交付したほか、森林経営管理制度に基づく森林所有者への意向調査を委託により実施した（意向調査に係る委託事業に対し森林環境譲与税を充当）。	（森林集約化業務） ・事業量（集積面積）：212.74ha （森林経営意向調査実施業務） ・実施地区：神岡町吉田地区（9.18ha）、河合町元田地区（7.80ha）、稲越地区（32.70ha）	—
1.民有林整備の推進	1.間伐等の森林整備	森林作業路機能強化支援事業	補助金	9,273	9,273	森林整備の基盤となる作業路の機能強化に必要な経費の一部を支援することで森林作業路の強靱化を図り、効率的かつ安定的な木材生産を推進した。	（対象事業の概要） ・場所：河合町元田地内 ・路線名：下ノ作線 ・事業量：L=5,200m	No.1
1.民有林整備の推進	1.間伐等の森林整備	市有林整備事業	需用費 委託料	11,313	3,167	飛騨市が所有する人工林において、主にスギ、ヒノキの間伐を行い木材を販売したほか、天然林においては伐採前更新評価など飛騨市における広葉樹天然林施業の基本方針に沿った広葉樹施業の実証を目的とした森林整備を行った。	（人工林） ・場所：古川町畦畑地内 ・面積及び施業種：7.16ha 間伐（搬出） （天然林）※試験的施業 ・場所：河合町保地内 ・面積及び施業種：1.3ha 下刈り・帯状択伐	No.2
1.民有林整備の推進	2.人材の育成・担い手の確保	林業普及・人材育成プログラム推進事業	需用費 委託料	579	554	中長期的な視点で林業従事者を育成する観点から、市内中・高校生を対象に林業に対する正しい認識と森林が有する公益的機能を伝える出前講座を開催するとともに、教材として活用できる動画を制作	（出前講座の開催） ・実施校：6/16山之村中学校、6/17古川中学校、6/20神岡中学校、10/18飛騨神岡高校	—
1.民有林整備の推進	2.人材の育成・担い手の確保	飛騨の"森で働く"見学会開催事業	委託料	2,492	2,492	比較的短期的な視点から、林業従事者を確保することを目的に、主に市外在住者を対象として林業の基礎知識や飛騨市の林業の特徴などを知る「飛騨の"森で働く"見学会を開催した。	（飛騨の"森で働く"見学会） ・開催日数：延4日間 ・参加者数：延10名 ※飛騨市へ移住し、林業に就業することをイメージし、林業のみならず街並みや空き家等の案内も併せて実施	No.3
2.里山林整備の推進	1.間伐等の森林整備	飛騨市里山林整備事業	委託料	11,987	11,987	人家に近く暮らしと密接に結びついている里山の公益的機能の維持・向上及び野生獣による被害防止等を目的とした森林整備を実施した。	（緩衝帯整備） ・神岡町石神地内 0.61ha ・古川町末真地内 1.43ha ・河合町稲越地内 1.01ha （危険木除去） ・古川町上野地内 1か所 ・古川町袈裟丸地内 2か所	—
3.広葉樹のまちづくりの推進	1.間伐等の森林整備	広葉樹天然生林施業支援事業	補助金	2,377	2,377	市内における広葉樹天然生林の育成及び収穫等に関する基本方針を策定するとともに、現在、国県補助の対象となっていない天然林の施業に対する補助制度を新たに創設し、民間事業者が主体となった広葉樹の生産体制構築を推進した。	（対象事業の概要） ・場所：古川町黒内地内 ・事業面積：1.01ha ・施業種：市基本方針に基づく帯状択伐 ・搬出材積：339.982立米	—

令和4年度 森林環境譲与税決算状況一覧（総括表）

事業区分	使途区分	事業名等	主な支出費目	事業費総額（千円）		事業の目的・概要	実績・成果等の概要	資料
					うち森林環境譲与税充当額（千円）			
3.広葉樹のまちづくりの推進	1.間伐等の森林整備	広葉樹天然林詳細資源量調査事業	委託料	2,799	2,799	UAVやモバイル3Dスキャナなどの最新技術の活用による効率的な広葉樹施業の実現を目指し、専門的な知見やノウハウを有する企業への委託により、これまで人力以外の資源量把握が困難とされてきた天然林と人工林が混在する森林経理計画団地内の資源量調査を試験的に実施した。	・調査地：古川町黒内地内 ・調査面積：40ha ・調査内容：ドローン撮影及び現地調査、レーザーデータとRGB画像の処理、地形情報の解析、森林資源情報の解析	No.4
3.広葉樹のまちづくりの推進	2.人材の育成・担い手の確保	広葉樹伐倒技術研修会開催事業	委託料	99	99	針葉樹と比較して樹形が複雑な広葉樹の伐倒には大きな危険が伴い、高い技術が必要であることから、広葉樹施業が盛んなドイツの認定森林作業士資格を有する講師を招へいし、伐倒研修会を開催した。	・委託先：株式会社三井物産フォレスト ・講師：伊藤史彦氏 ・開催日：令和5年3月10日 ・参加者：8名	No.5
3.広葉樹のまちづくりの推進	2.人材の育成・担い手の確保	林業専門人材育成・活用事業	委託料	2,099	2,099	専門的知見を有した人材にアドバイザー業務を委託することで、広葉樹天然林の施業に関する助言・指導のほか、OJTによる林務担当職員の人材育成を実施した。 ※事業委託先：造林技術研究所 横井秀一氏（元・岐阜県立森林文化アカデミー教授、現特任教授）	(指導内容) ・飛騨市が他の持続可能な広葉樹林業確立に必要な提案・指導・助言 ・価値の高い広葉樹の森づくりに関する指導・助言 ・広葉樹のまちづくりの普及・推進に関する指導・助言 (指導延日数) 28日	—
3.広葉樹のまちづくりの推進	2.人材の育成・担い手の確保	広葉樹のまちづくり人材育成事業	委託料	2,965	2,965	広葉樹活用に欠かせない森づくり、製材・乾燥、仕組みづくりの各分野についての知見や技術を有した人材を育成し、飛騨市と関わりのある人や地域を増やすため「広葉樹のまちづくり学校」を開講した。	・開催日：第1回R4.11.18～20、第2回R5.1.12～14、第3回R5.3.22～23 ・テーマ：第1回「広葉樹林施業実践講座」、第2回「製材・乾燥実践講座」、第3回「森林資源活用事業構築実践講座」 ・参加者（/定員）：第1回4名/8名、第2回10名/8名、第3回10名/10名	No.6
3.広葉樹のまちづくりの推進	3.木材利用・普及啓発	FCS森林認証（FM）取得事業	旅費 需用費 委託料 使用料及び賃借料	853	853	適正な森林管理が行われていることを示す国際認証であるFSC認証を市有林において取得するため、必要な情報収集及び第三者認証機関による事前予備審査を受験した。	・事前予備審査：令和5年3月16日～17日 ※事前審査での指摘事項等を踏まえ、令和5年8月に本審査を受験。同11月に認証を取得できる見込み。	—
3.広葉樹のまちづくりの推進	3.木材利用・普及啓発	林業・木材活用新技術開発支援事業	補助金	147	147	小径広葉樹短期製品化サイクルの構築に必要な初期投資に必要な借入に対する対し利子補給を実施した。	・利子補給 1件（3年目）	—
3.広葉樹のまちづくりの推進	3.木材利用・普及啓発	広葉樹のまちづくり普及・推進事業	報償費 旅費 需用費 借上料及び賃借料	700	700	広葉樹のまちづくりの普及推進を図るため、広葉樹について市民とともに学ぶ「広葉樹のまちづくりセミナー」や広葉樹活用現地検討会の開催、広葉樹施業試験林への看板設置のほか、飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアムの持続可能な活動に向けた関係会議を開催した。	(広葉樹のまちづくりセミナー) ・開催日：第1回R4.7.5、第2回R4.8.11、第3回R4.11.16、第4回R4.12.4、第5回R5.2.13 (広葉樹活用現地検討会) ・開催日：第1回R4.4.13、第2回R4.11.10、第3回R4.11.14、第4回R4.12.19 (広葉樹施業試験林看板設置) ・設置場所及び数：宮川町菅沼地内 2基 (飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアム会議) ・開催回数：総会1回、全体会議1回、ワーキングリーダー会議6回	—
3.広葉樹のまちづくりの推進	3.木材利用・普及啓発	小径広葉樹サプライチェーン構築推進事業	委託料 補助金	5,854	1,785	飛騨市独自の広葉樹サプライチェーンを構築するため「飛騨市広葉樹活用コンシェルジュ」を配置するとともに、市内産広葉樹の活用推進のため、飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアムが実施する広葉樹流通拠点の設置・運営及び原木仕分けに要する経費に対し支援を	・飛騨市広葉樹活用コンシェルジュ：1名（譲与税充当無） ・広葉樹流通拠点設置補助：飛騨市古川町高野地内1か所 ・原木仕分け補助：74.589立米	No.7
3.広葉樹のまちづくりの推進	3.木材利用・普及啓発	市内産広葉樹公共施設木質化事業	委託料	523	523	広葉樹のまちづくりのPRと市内産小径広葉樹の活用モデルを主に市民に示すため、飛騨市図書館1階のキッズスペース床面を様々な樹種の市内産広葉樹で木質化した。	・施工面積：17平米（PRパネル4枚）	—
3.広葉樹のまちづくりの推進	3.木材利用・普及啓発	国産広葉樹集成材用途開発事業	委託料	748	748	広葉樹集成材の新たな用途開発を目的として、中部卒業設計展を企画、運営する「NAGOYA Archi Fes」（名古屋工業大学の学生が中心となった学生グループ）への委託によりアイデアコンペを開催し	・延参加者数：35名 ・活用提案数：16点	—

令和4年度 森林環境譲与税決算状況一覧（総括表）

事業区分	使途区分	事業名等	主な支出費目	事業費総額（千円）		事業の目的・概要	実績・成果等の概要	資料
					うち森林環境譲与税充当額（千円）			
3.広葉樹のまちづくりの推進	3.木材利用・普及啓発	飛騨市農産物直売所整備事業（売り場内装施工及び店舗家具・什器等製作） ※令和3年度繰越事業	委託料 工事請負費	15,892	15,892	飛騨市が新たに整備した農産物直売所売場の内装及び什器等を飛騨市産広葉樹を活用して整備し、地域産広葉樹の建築分野での活用をPRするとともに、豊かな天然林と農産物との関係をイメージさせる空間づくりを行った。	・売り場面積：182.363平米 ・家具及び什器製作：69点	No.8
4.多様な森林の活用推進	3.木材利用・普及啓発	広葉樹のまちづくりツアー開催事業	委託料	467	467	広葉樹の活用という全国でも珍しい挑戦に興味・関心を持っていただき、今後、取り組みの応援者や関連する様々な事業で連携できるパートナーを全国に増やすことを目的として、広葉樹のまちづくりツアーと題した現地見学会を実施した。	・開催日：第1回R4.6.18～19、第2回R4.6.30～7.1、第3回R4.9.29～30、第4回R4.10.15～16 ・参加者：延37名	No.9
4.多様な森林の活用推進	3.木材利用・普及啓発	高野千本桜夢公園整備事業	需用費 委託料 工事請負費	3,530	3,530	旧古川スキー場跡地（市有地）を市民との協働により「高野千本桜夢公園」として整備・緑化し、市の森林を基軸とした新たな魅力として市内外に発信した。	（枯死したヤマザクラの改植） ・ヤマザクラ苗 10本 （園内法面の緑化） ・園内休憩スペース法面緑化一式	—
合計				88,701	74,864			
令和4年度基金取り崩し額					46,228			
令和4年度譲与税額					61,948			
令和4年度基金積立額（年度末基金残高）					33,312			

■事業区分別集計

事業区分	充当額（千円）	割合（％）
1.民有林整備の推進	27,893	37.26%
2.里山林整備の推進	11,987	16.01%
3.広葉樹のまちづくりの推進	30,987	41.39%
4.多様な森林の活用推進	3,997	5.34%
合計	74,864	100.00%

■使途区分別集計

使途区分	充当額（千円）	割合（％）
1.間伐等の森林整備	42,010	56.12%
2.人材の育成・担い手の確保	8,209	10.97%
3.木材利用・普及啓発	24,645	32.92%
合計	74,864	100.00%